



横浜市立一本松小学校

7月号

学校だより

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和8年6月30日

子どもたちの『人と関わる力』を育てるために

校長 高桑 透

近年、AI や LINE をはじめとする SNS が急速に普及し、私たちの生活は大きく変化しました。必要な情報がすぐに手に入り、人と簡単につながることができる便利な時代である一方で、その影響について改めて考える必要性も高まっています。

特に小学生の段階においては、こうしたデジタルツールとの関わり方に慎重さが求められます。LINE は便利なコミュニケーション手段ではありますが、一般的に 12 歳未満の利用は推奨されていません。小学生の段階では誤解やトラブルが生じやすく、既読や返信のタイミング、グループでのやり取りなどが心理的負担となり、友人関係に影響を与えるケースも見られます。中には、いじめへと発展する場合もあり、ネット上のやり取りは表面化しにくいいため、気づいたときには深刻な状況に至っていることもあります。さらに、他者からの反応に過度に左右されることにより、自己肯定感の形成に悪影響が及ぶことも懸念されます。

こうした背景を踏まえ、本校では、小学生の段階では LINE を含む SNS の利用は原則として行わせたくないと考えています。また、やむを得ず使用する場合は、必ず保護者の管理のもとで、使用時間・相手・内容について明確なルールを設けていただくようお願いいたします。

さらに、AI の利用についても注意が必要です。AI は疑問に対する答えを容易に得ることができる一方で、自分で考えたり判断したりする機会が減るおそれがあります。また、自分の言葉で考え、伝える経験が不足することは、コミュニケーションの力にも影響を及ぼします。小学生の時期は、自ら考え、表現する力を育てる大切な時期です。

子どもたちの成長にとって何より大切なのは、人と直接関わる経験です。顔を合わせて話す中で、相手の気持ちを感じ取り、自分の思いを言葉で伝える力が育まれます。こうした積み重ねが、思いやりや信頼関係を生み、豊かな人間関係の基盤となっていきます。

便利な時代だからこそ、「人と向き合う時間」を大切にしたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、学校と家庭が同じ方向を向き、環境を整えていくことが重要です。ご家庭におかれましても、日常の会話を大切にしてくださいとともに、デジタル機器の利用について改めてご配慮くださいますようお願いいたします。